

2019年度 徳島県立文学書道館 文学講座

若い人たちのための俳句教室(全5回)

十代で第一句集を出版、子どもや初心者への指導経験も豊富な

阿南市出身の俳人・大高翔さんから作句の基本を学びます。



大高 翔(おおたか・しょう)

俳人。藍花俳句会副主宰。1977年、阿南市生まれ。立教大学文学部日本文学科卒。母のすすめで13歳から作句を開始。城東高校卒業時に第1句集『ひとりの聖域』を自費出版、10代の句集として話題を呼ぶ。2007年『漱石さんの俳句』で第22回俳人協会評論賞候補。10年、阿波文化創造賞受賞。16年、第4句集『帰帆』で第1回俳句大学大賞受賞。同年より徳島新聞にてエッセイ「てのひらの記憶」連載中。徳島科学技術高校、鳴門渦潮高校、阿南光高校の校歌も作詞している。また、子どもや初心者、パリやニューヨークでの作句指導にも力を注いでいる。句集はほかに『17文字の孤独』『キトリセン』。ホームページ <http://www.shootaka.jp/>

日時 ①5月25日 ②6月29日 ③7月20日

④8月17日 ⑤9月14日 (各土曜日)

14:00～15:30

場所 2階 講座室

定員 先着30人 (39歳までの人)

申込方法

はがき・FAX・メールのいずれかに「若い人たちのための俳句教室」と明記の上、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を記入してお申し込みください。当館1階受付でも申し込みます。